

2022年11月10日

各位

会社名 株式会社ジャパンディスプレイ
 代表者名 代表執行役会長CEO スコット キャロン
 (コード番号 6740 東証プライム)
 問合せ先 代表執行役CFO 大河内 聡人
 (TEL. 03-6732-8100)

**2023年3月期第2四半期連結業績予想と実績との差異
 並びに通期連結業績予想の修正(下方修正)のお知らせ**

2023年3月期第2四半期会計期間及び累計期間の連結業績について、2022年5月13日に公表した業績予想(以下「前回発表予想」と本日発表の実績に差異が生じたので、お知らせいたします。また、2023年3月期第3四半期、第4四半期の各会計期間及び通期の前回発表予想を下方修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

1. 2023年3月期第2四半期連結業績予想と実績の差異

(1) 第2四半期会計期間(2022年7月1日~2022年9月30日)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	92,250	△1,700	△4,200	△4,500	△4,850	
実績値 (B)	81,196	△2,774	△4,906	△4,077	△6,559	△1.39
増減額 (B-A)	-11,054	-1,074	-706	+423	-1,709	
増減率 (%)	-12.0%	—	—	—	—	
(ご参考) 前年同期実績 (2022年3月期第2四半期)	71,898	955	△1,160	△1,212	△1,760	△0.47

(2) 第2四半期累計期間(2022年4月1日~2022年9月30日)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	154,700	△11,900	△16,700	△17,300	△17,200	
実績値 (B)	138,296	△7,485	△11,779	△8,401	△11,633	△2.47
増減額 (B-A)	-16,404	+4,415	+4,921	+8,899	+5,567	
増減率 (%)	-10.6%	—	—	—	—	
(ご参考) 前年同期実績 (2022年3月期第2四半期)	137,860	△2,761	△7,033	△7,570	△8,753	△2.96

(3) 差異の理由

円安による増収効果は生じた一方、世界的なインフレ進行や中国での消費低迷による民生機器向け製品の需要減、及び引き続きの半導体等の部材不足や長期化した中国上海エリアのロックダウンに起因する車載分野の顧客の生産調整に伴う需要減により、当第2四半期の売上高は、会計・累計期間とも前回発表予想を下回りました。

売上高の減少により、EBITDA及び営業利益は、会計期間において前回発表予想比で下振れましたが、累計期間では上振れました。また、営業外収益として為替差益を計上したこともあり、経常利益は会計・累計期間とも前回発表予想に対して上振れました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、海外子会社の法人税等の増加により、会計期間では前回発表予想比で下振れましたが、累計期間では上振れました。

なお、当第2四半期会計期間の業績予想の前提為替レートは1米ドル=123.0円としておりましたが、実績為替レートは、会計期間で1米ドル=138.3円、累計期間で1米ドル=134.0円となりました。

2. 2023年3月期第3四半期、第4四半期及び通期連結業績予想の修正

(1) 2023年3月期第3四半期会計期間（2022年10月1日～2022年12月31日）

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	89,600	1,400	△1,200	△1,600	△1,900	
今回発表予想 (B)	75,600	△7,000	△9,000	△9,300	△9,600	
増減額 (B-A)	-14,000	-8,400	-7,800	-7,700	-7,700	
増減率 (%)	-15.6%	—	—	—	—	
(ご参考) 前年同期実績 (2022年3月期第3四半期)	71,657	△927	△3,084	△2,502	2,422	0.57

(2) 2023年3月期第4四半期会計期間（2023年1月1日～2023年3月31日）

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	84,800	1,300	△1,500	△1,900	△2,300	
今回発表予想 (B)	66,100	△11,900	△14,100	△14,300	△14,600	
増減額 (B-A)	-18,700	-13,200	-12,600	-12,400	-12,300	
増減率 (%)	-22.1%	—	—	—	—	
(ご参考) 前年同期実績 (2022年3月期第4四半期)	86,427	3,850	1,540	2,109	△1,765	△0.40

(3) 2023年3月期通期 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	329,100	△9,200	△19,400	△20,800	△21,400	△4.54
今回発表予想 (B)	280,000	△26,400	△34,900	△32,000	△35,800	△7.59
増減額 (B-A)	-49,100	-17,200	-15,500	-11,200	-14,400	
増減率 (%)	-14.9%	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	295,946	161	△8,576	△7,964	△8,096	△2.08

(4) 修正の理由

世界的なインフレの急加速を背景に、モバイル・ノンモバイル分野の民生機器全般で需要が期初の予想から大幅に減退しています。また、車載分野においては、堅調な自動車需要があるものの、アナログIC不足の継続により自動車メーカーや車載機器メーカーが引き続き生産調整を余儀なくされていることから、当社製品への需要も期初予想に対して下振れています。加えて、欧州では今冬のエネルギー不足が懸念されており、自動車関連工場の操業に影響を及ぼすリスクもあります。

こうした状況を勘案した結果、2023年3月期下期の売上高は、需要減による減収が円安による増収効果を上回り、第3四半期、第4四半期及び通期の前回発表予想を下回る見通しとなりました。また、売上高の減少に加えて、インフレの進行と急激な円安進行に伴い高騰している部材・エネルギー・輸送費の価格転嫁の遅れが円安の増益効果を相殺していることもあり、損益も前回発表予想を下回る見通しです。

なお、下期の業績予想の前提為替レートは、1米ドル=123円から145円に変更しております。

以 上

上記の業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。